**7　商 工 業**

　**(1) 商工業振興対策**

　商業は、商店連合会や発展会など地元商業者団体の行うイベント事業や後継者の育成等の事業について助成を行っている。

　工業は、基幹産業である鉄工産業、地場産業である鋳物産業やサンダル履物産業など業界で実施する商品見本市開催事業、新商品・新技術開発、技術向上、後継者の育成等の事業に対して助成を行っている。

　桑名ビジネスリサーチパークから多度町南部地区は、都市計画マスタープランにおいて「生産・物流地域」に設定し、周辺の良好な住宅環境と整合を図りつつ、地理的優位性を活かして企業誘致を推進している。同地域はアクセス道路やスマートインターチェンジの整備・計画が具体化してきていることも後押しとなって、企業立地ニーズは高く、「グリーン化」「デジタル化」をはじめとした、付加価値の高い産業誘致に積極的に取り組んでいる。

　その他、商工業共通の中小企業支援施策として、平成２９年度に桑名市、桑名商工会議所、公益財団法人三重県産業支援センターの三者が連携して、「桑名市ビジネスサポートセンター」・「三重県よろず支援拠点くわなサテライト」を開設した。地域の企業等への経営向上等に関する支援を相互に連携して取り組んでいる。また、事業資金の借入の円滑化を図るため、令和２年度から利子補給を実施している。

このほか、桑名商工会議所・桑名三川商工会への助成等を通じ、地域商工業者団体の活動強化や後継者育成に努めている。

令和５年度は令和４年度に引き続き業務改善等の経費の一部を補助し、市内事業者を支援した。

**(2) 商業のあらまし**

消費者ニーズの多様化、消費者行動の広域化・大型店舗の郊外への進出などにより、中小小売店舗で形成する既存商店街の影響は大きく、多くの商店街で空き店舗が発生している。中小小売店舗並びに商店街の衰退は、単に小売業という一産業の問題にとどまらず、桑名市の総合的な活力と魅力の低下につながる課題性も含んでいる。

こうした経緯から、市では、関係機関と連携して商店街の機能回復及び中心市街地の活性化を図っており、平成２５年度から２６年度にかけて、経済産業省よりの商店街まちづくり事業である「まちづくり補助金」の周知を行い、市としても商店街に補助金を交付するなど商店街の発展に努めた。また、平成２６年１月２０日に施行された「産業競争力強化法」において定められた「地域における創業支援体制の整備」にかかる支援メニューとして、桑名市の３年間の創業支援計画（平成２６年３月２０日認定）を定め、平成２６年度から関係機関とともに、事業者の創業支援を積極的に行い、商業の活性化に努めている。

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症やエネルギー・物価高騰に対する経済対策として、キャッシュレス決済ポイント還元事業等を実施した。

ア　商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

単位：百万円、％

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 次 |  商店数 | 従業者数 | 年間商品販売額 |
| 実数 | 対前回 | H11年=100 | 実数 | 対前回 | H11年=100 | 実数 | 対前回 | H11年=100 |
| 平成11年 | 1,949 | － | 100.0  | 12,125 | － | 100.0  | 265,461 | － | 100.0  |
| 平成14年 | 1,850 | 94.9  | 94.9  | 11,853 | 97.8  | 97.8  | 228,738 | 86.2  | 86.2  |
| 平成16年 | 1,707 | 92.3  | 87.6  | 11,820 | 99.7  | 97.5 | 222,069 | 97.1  | 83.7 |
| 平成19年 | 1,590 | 93.1  | 81.6  | 11,475 | 97.1  | 94.6  | 233,982 | 105.4  | 88.1  |
| 平成26年 | 1,385 | 87.1 | 71.1 | 9,947 | 86.7 | 82.0 | 276,263 | 118.1 | 104.1 |
| 平成28年 | 1,356 | 97.9 | 69.6 | 10,443 | 105.0 | 86.1 | 277,025 | 100.3 | 104.4 |
| 令和3年 | 1,257 | 92.7 | 64.5 | 10,415 | 99.7 | 85.9 | 258,709 | 93.4 | 97.5 |

※　商業統計調査：各年6月1日現在（平成26年は7月１日現在）

※　平成28年からは経済センサス-活動調査

※　平成11年～16年は旧桑名市、旧多度町、旧長島町の合計値。

イ　業種別商店数・従業者数・年間商品販売額等

単位：店、人、百万円、㎡

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | 商店数 | 従業者数 | 年間商品販売額 | 売場面積 |
| 数　総 | 1,257 | 10,415 | 258,709 | － |
| 卸 売 業 | 241 | 1,832 | 98,640 | － |
| 　各種商品卸売業 | － | － | － | － |
| 　繊維･衣服等卸売業 | 8 | 61 | 1,314 | － |
| 　飲食料品卸売業 | 49 | 496 | 34,190 | － |
| 　建築材料､鉱物･金属材料卸売 | 82 | 653 | 32,504 | － |
| 　機械器具卸売業 | 59 | 390 | 24,199 | － |
| 　その他の卸売業 | 3 | 26 | 749 | － |
| 小 売 業 | 1,016 | 8,583 | 160,070 | 217,520 |
| 　各種商品小売業 | 1 | 26 | － | － |
| 　織物･衣服･身回品小売業 | 195 | 1,074 | 21,666 | 35,962 |
| 　飲食料品小売業 | 277 | 3,359 | 47,763 | 64,398 |
| 　自動車･自転車小売業 | 96 | 584 | 19,242 | 3,403 |
| 　家具･什器･機械器具小売業 | 46 | 282 | 4,332 | 15,606 |
| 　その他の小売業 | 374 | 3,030 | － | － |

※　令和３年経済センサス-活動調査：令和５年３月28日現在

**(3) 工業のあらまし**

桑名市の工業は、「機械工業」と「金属工業」が二大産業として有名である。戦前の軍需産業の流れをくむ機械工業、江戸時代から続く地場産業の鋳物づくりに加え、近年では豊富な農林水産物を加工する「食料品製造業」やI T産業などの新産業分野も当市の工業の中枢を占めるようになった。また、本市の地場産業である鋳物産業は、工場数の減少があるものの、製品は多岐に及んでおり、家庭用品、電気器具、ガス器具、車両、工作機械、建設用機械等に用いられている。
　桑名で考案された製品も多くあり、琺瑯(ホーロー)鉄器やボールベアリングはその代表である。近年では、小惑星探査機”はやぶさ”やスーパーコンピュータ”京”の一部が市内工場で製造されるなど世界のものづくりをリードする企業や、スマート社会に向けた半導体ビジネスの発展に貢献する企業もある。

ア　年代別製造出荷額等

単位：箇所、人、万円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 　次 | 事業所数 | 従業者数 | 製造品出荷額等 |
| 平成28年 | 307 | 12,813 | 39,347,332 |
| 平成29年 | 304 | 12,625 | 39,310,845 |
| 平成30年 | 311 | 12,919 | 39,567,891 |
| 令和元年 | 313 | 13,254 | 40,599,650 |
| 令和2年 | 268 | 12,760 | 35,694,135 |
| 令和3年 | 334 | 12,446 | 38,527,942 |

※　平成28年から令和元年：工業統計調査、令和2年：経済センサス－活動調査、

令和3年：経済構造実態調査

※　事業所数、従業員数は、各年6月1日時点

※　製造品出荷額等は各年1月から12月実績

※　工業統計調査、経済センサス－活動調査、経済構造実態調査は集計範囲等が異なるため、単純比較できないことに留意されたい。

イ　業種別製造出荷額等

単位：箇所、人、万円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業種 | 事業所数 | 従業者数 | 製造品出荷額等 |
| はん用機械器具製造業 | 19 | 2,019 | 7,355,580 |
| 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 6 | 1,342 | 7,154,380 |
| 食料品製造業 | 27 | 2,474 | 4,222,088 |
| 鉄鋼業 | 24 | 906 | 4,103,780 |
| 輸送用機械器具製造業 | 36 | 1,574 | 3,855,178 |
| 業務用機械器具製造業 | 5 | 100 | 3,454,182 |

※2022年経済構造実態調査：令和５年７月31日現在（製造品出荷額等上位６業種）